

令和元年度 学校評価  
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立勝呂小学校
-----	-----------

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	・学校だよりで学校教育目標や目指す学校像、特色ある学校づくりの内容について保護者に周知している。 ・行事ごとにアンケートを取り、結果を生かしているが、全体に周知するための情報提供等で教職員間の共通理解が不足していた部分があった。	A	・教育目標や年度の重点課題が明確にされており、米作り体験、勝呂っ子集会、いじめゼロ宣言など特色のある内容を実施していることは評価できる。 ・特色ある学校づくりは難しいが、地域と連携して取り組んでいただければと思います。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	B	・事故やトラブルに対して、迅速に対応しているが、うまく循環していないこともあり、職員間の共通理解、共通行動を図る必要がある。 ・避難訓練等においては、安全部を中心に、めあてをもって取り組んでいる。	B	・自然災害の激甚化や子供たちの不測の事故が多発している現状を鑑み、特に保護者への的確な対応をしていただくよう望みます。さらに、台風被害を踏まえ避難所運営の再確認をしていただければと思います。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(共通項目)	B	・各行事について意見が出るが、その後の検討までいかないことが多いので、行事検討委員会等を活用し行事の精選や内容の見直し等も含め工夫改善を。 ・会議の効率化等を図り、勤務体制の改善を推進していかなければならない。	B	・働き方改革の趣旨にのっとり、先生方がお互いに協力して勤務の調整を行ってください。 ・小学校では難しいかもしれませんが、会議行事を見直し計画的な取得ができればと思います。
教育課程・学習	4	教員は、学力向上に向け、児童生徒にわかりやすく、工夫した授業をしている。(市共通項目)	A	・一人一人の児童のニーズに合った授業を推進していくためには、学力学習状況テストの分析を進め、日頃から授業スキルを評価しあい、フィードバックする機会を工夫していく必要がある。	A	・学力向上に対しては、常日頃取り組んでいただいていると思いますが、学力学習状況調査結果が県平均を下回っているようですので、学力の向上に工夫が必要かと思えます。
	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	・授業では、自分の考えをまとめ、伝えることなどについては課題も多い。課題克服のためには、さらなる教材研究を行い、学校行事や道徳、特別活動とも関連させながら、豊かな心を育む授業を実践しなければならない。	B	・各行事などを見させていただくと子供たちの表情が良く、豊かな心が育まれていることが伝わってきます。 ・特別の教科道徳の研修を通して先生方の意識改革が必要になってくると思います。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	B	・学年によってもばらつきがある挨拶は、課題でもあるので、引き続き全校児童で取り組める活動を考えていく。 ・教職員自身が児童の手本として、挨拶や言葉遣い、児童への接し方等に気を付けていく必要がある。	B	・大勢の児童が挨拶をきちんとできています。また、授業参観の際にも進んで発言していました。 ・学校(登校、下校時)であいさつができない子を目にすることもありますので、小学生らしい挨拶ができるとういと思っています。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のために意欲的に取り組んでいる。(市共通項目)	B	・定期的に行われた教職員事故防止研修会で、新聞資料等を活用し、不祥事の根絶を目指してきた。 ・勝呂小学校職員の6つの「しません」宣言カードを常に携行している。	B	・教職員不祥事・教職員事故は常にゼロを目指して取り組んで欲しいと思います。 ・不祥事の防止には、お互いに心を開いて話し合える環境を作ることが、まず第一だと思いますのでよろしくをお願いします。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切にしている。	A	・児童一人一人の違いを認め、大切にすることはできているが、指導内容も含め難しさもある。そこで、子どもの悩みを受け止める場所と時間をさらに増やす必要がある。 ・今後もさらなる保護者との連携が必要である。	A	・発達段階に応じた取り組みをされていると思います。 ・校長先生や教頭先生が率先して現場と向き合う姿勢は保護者が安心すると思う。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	A	・ケース会議の定例化等により、交流の課題などもお互いに共有することができている。 ・夏季休業中の特別支援教育研修は、有意義であった。今後も継続して、特別支援教育の研修会を継続していく。	A	・差別のない社会を目指すには、まず子供たちの教育が原点だと思います。特別支援教育のみならず、特別な支援、個別な支援を必要とする児童への対応をお願いします。 ・特別支援教室の前に掲示してある作品はとても温かく素晴らしいと思います。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	B	・安全点検の定例化による迅速な対応。今年度できなかったところはそのままにしない。 ・修理が必要なところは早急に修繕し、校内環境改善を図る。	A	・危険箇所などがあればすぐに対応してくれていると思います。 ・施設の老朽化は深刻な問題ですが、計画的な取り組みをお願いします。
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。(市共通項目)	A	・防犯情報はメールで保護者と地域に情報提供および注意喚起をしている。 ・HPにおいても学校だよりが更新され、見やすく、活用しやすくなった。さらに、学校での児童の様子等を家庭・地域に提供していく。	A	・勝呂小だよりを地域に回覧することで、小学生がいない世帯の方々にも勝呂小への理解が図られています。 ・改善の余地もありますが、学校ホームページなど定期的に更新されているのでありがたいです。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	A	・ゲストティーチャーを招いての学習は、児童の興味・関心を引き付ける経験にもなるので、継続して実施していく。 ・積極的に行事に協力してくださる保護者の方が多い。また、登下校についても、交通指導員さんや地域の方々の協力をいただいている。	A	・農家と連携して子供たちに田植えや稲刈りを体験させることはとても良いと思う。 ・特色ある学校づくりも含め地域連携を継続していってください。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。(市共通項目)	B	・小中連絡会で連携をとることができているが、限られたことの情報交換しかできていない。 ・勝呂小⇄住吉中相互の連携を緊密化させていくために、改善策について早急に検討していく。	B	・小中のつながりはとても大切なので、継続して小中一貫教育の視点に立って教育活動を推進していただきたいと思います。 ・特にほとんどの児童が進学する住吉中学校との日ごろからの情報交換は重要です。